

平成 27 年度第 1 回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 要旨

日 時：平成 27 年 8 月 13 日（木）18 時から 19 時 50 分

場 所：鎌倉市役所 第三分庁舎 講堂

出席者：（委 員）岸川委員長、湯浅委員、中川委員、永野委員、中島委員、内藤委員、望月委員、野沢委員

（幹 事）磯崎健康福祉部長、大澤健康福祉部次長（福祉総務課長事務取扱）、曾根健康福祉部次長（市民健康課長事務取扱）、平井こどもみらい部次長（こども相談課長事務取扱）、石山こどもみらい部次長（こどもみらい課長事務取扱）、杉並教育指導課長、安田障害者福祉課長

（事務局）柴田課長補佐、久木田職員、庄崎職員

## 1 議題

（1）平成 26 年度 障害者福祉計画推進状況報告書（案）（以下「報告書」）の審議について

（事務局）報告書（資料 1）の主な内容は以下の通り。

- ・障害児者の状況、計画の概要、施策の体系図。事業一覧、重点施策の取組み、障害福祉サービスごとの実施状況について記載。

- ・評価は、事業ごとに関連各課及び関係機関による評価を行い、平成 25 年度の事業実績と比較して ABC 評価とした。（A 評価：新規事業、事業の拡大・前進 B 評価：事業の継続 C 評価：事業の縮小・廃止・未実施）ABC 表記は価値判断を伴うものではない。

アンケート（資料 2）は、報告書と一緒に配布し、10 月に集計予定。昨年アンケートでは 157 件の回答があった。

資料編（資料 3）は、報告書の重点施策に追加して、全事業の推進状況、計画の実施状況、障害児者数の推移について記載。

（委員）ABC 評価が「価値判断を伴うものではない」と記載されているが、もう少し柔らかく表記してはどうか。4-2-1（報告書 11 頁と資料編 22 頁）と 4-3-2（報告書 12 頁と資料編 24 頁）の ABC 評価の整合性が取れていないので再確認してほしい。

（事務局）確認して修正する。

（委員）評価方法については、ABC 評価だけでは分かり辛い印象がある。

（委員）鎌倉市は行政評価を行う際に ABC 評価を行うことが多いが、この報告書にそれを当てはめてよいのかと感じる。

（委員）アンケートの回収数を増やす方法の 1 つとして、施設へも配架すれば切実な意見も吸い上げられるのではないか。

（委員）アンケート設問 1 の居住地域は必要ないのでは。

（委員）「価値判断を伴うものではない」という表記の文字を大きくするなどして、分かりやすくすればよいのでは。

（委員）アンケートの設問 4 は 51 事業から 5 つを選ぶことは難しいので、重点施策 5 つの中から選んでもらうようにした方がよいと思う。

（委員）この報告書の評価基準については、前年度との比較ではなく、事業の方向性に合致しているかについての評価にした方がよいのでは。例えば拡大は＋、継続は＋－、縮小は－にするなど。評価の方法を変えるか、事業の方向性に対する評価を変えるか、どちらがよいか。

（委員）事業の方向性に対する評価を変えるのがよいと思う。

（事務局）現在行っている評価は「評価」というより「状況」に近い。

（委員）事業の方向性に対する評価を掲載するかについてと、表記方法（「評価」または「状況」）については事務局が持ち帰り、上記意見を踏まえて修正し、次回の委員会で意見を頂きたい。

（事務局）アンケート設問 1 の居住地域について、地域ごとの集計は行わないので削除する。

（委員）アンケート設問 4 は重点施策 5 つを 5 段階評価にして○を付けるだけでよい形式にしてはどうか。自由記述欄も設けて、どこを評価してどこを評価していないかを書けるようにすればよいのでは。

（委員）スケジュールについて、報告書（案）の段階でアンケートを実施するのか。アンケートを 10 月にとって、集計は 3 月までかかるのか。

- (事務局) 報告書(案)でアンケートを実施し、3月に報告書を確定させるので、このようなスケジュールになっている。
- (委員) 老障介護・人材不足など鎌倉市内でも増えてきていると思うので、全般的な困り感を拾い上げるアンケートにしたい。
- (委員) 設問4とは別に、全般的に一番困っていることを書ける自由記述を別途設けてはどうか。
- (委員) アンケート回収数を増やすために考えていることはあるのか。
- (事務局) 昨年同様に事業所へ配布したり、窓口に記載台を配置するなど、窓口で手続きをしに来た人を書いてもらえるような工夫はしていきたいと考えている。
- (委員) 今すぐにといい意見ではないが、報告書の内容、冊子の大きさなど、全般的にもっと市民に分かりやすいものにした方がよいと思う。コンパクト版を作成するなど。
- (委員) 以前は資料編のような分厚い冊子しかなかったもので、分かりやすくするために報告書と資料編を分けて作成した経緯がある。冊子のサイズや文字の大きさなどは、障害特性に応じて読みやすさが変わってくるので、個別性を重視しながら分かりやすい報告書とするため、今後も引き続き意見を伺っていきたい。
- (委員) アンケート設問1「5 障害者と関わりがない」は自由記述欄を設けて、関わりがない理由がわかるようにしてはどうか。
- (委員) 自由記述欄を設けることは難しくないようなので、追記したい。
- (幹事) 市民向けにアンケートを行う際には確定させた報告書でなければならないので、「報告書(案)」ではなく「報告書」として市民に配布する。
- (委員) 今日の会議で気づかなかった点などがあれば、8月21日(金)までに障害者福祉課までへファックスで意見を送ってもらえればと思う。今日の会議とファックスでの意見を踏まえて、委員長と事務局で確定させる。

## 2 その他

### (1) 平成27年度第2回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会の日程について

- (事務局) 委員の任期が平成27年11月までのため、新たな委員が決定してから次回の日程を決めるが、平成27年3月頃開催予定。